

持参薬鑑別業務から見る 当薬剤部の現状について II

(福島県立南会津病院研究発表会)

平成22年3月 日
福島県立南会津病院薬剤部
石井 美由紀

薬剤部背景

- 平成20年度

薬剤師	5名
事務員	1名
臨時職員	1名
- 平成21年度

薬剤師	4名
事務員	1名

持参薬鑑別手順

- ①持参薬鑑別依頼書が薬剤部に届く
- ②病棟から持参薬を回収
- ③鑑別書作製(鑑別作業、データベースへの入力による薬品検索、相互作用・重複投与のチェック、当院での代替品記載など)
- ④薬袋作製、残数調整[中止薬がある場合には再調剤]
- ⑤コピー(薬局保存用)
- ⑥病棟へ申し送り

方法

- 平成21年6月～9月までの4ヵ月間
- 1病棟、2病棟から依頼された持参薬鑑別の件数及び一件あたりに費やされた時間を計測
- 再調剤(一包化、中止薬抜き出し、残数調整など)の件数及び一件あたりに費やされた時間を計測
- ただし、持参薬鑑別時間は、鑑別作業、データベースへの入力による薬品検索、相互作用・重複投与のチェック、薬袋作り、残数調整などにかかった時間とした
 - * 鑑別依頼書が薬剤部に届いてから病棟へ薬を取りに行っている時間やカルテ情報のチェック及び鑑別後の看護師への申し送りに要する時間などは除外した

持参薬鑑別件数

- 6月2日～9月30日の4ヵ月間における総件数166件

	1病棟	2病棟	合計
6月	26件	25件	51件
7月	25件	18件	43件
8月	16件	28件	44件
9月	14件	13件	28件*

*外来1件含む

持参薬鑑別の所要時間

一件あたり
平均 53分
最低 4分
最高 300分

新青森新聞

定価 100円
 送料 100円
 送料 100円
 送料 100円

新青森新聞

定価 100円
 送料 100円
 送料 100円
 送料 100円

新青森新聞

定価 100円
 送料 100円
 送料 100円
 送料 100円

新青森新聞

定価 100円
 送料 100円
 送料 100円
 送料 100円

新青森新聞

定価 100円
 送料 100円
 送料 100円
 送料 100円

新青森新聞

定価 100円
 送料 100円
 送料 100円
 送料 100円

品名	数量	単価	合計
100	100	100	100
100	100	100	100
100	100	100	100
100	100	100	100

定価 100円
 送料 100円
 送料 100円
 送料 100円

再調剤件数

● 6月2日～9月30日の4ヵ月間における総件数55件

中止薬抜き出し	24件
残数調整	10件
一包化	5件
粉碎	5件
半錠作製	2件
その他	19件

再調剤の所要時間

一件あたり

平均 29分

最低 5分 (残数調整、半錠作製)

最高 120分 (残数調整後、一包化)





No.

内 用 薬

用 法

一日 1 回 1 日分 種類
 時間毎に 1 日分 14 日分
 時間毎に 1 日分 14 日分

平成 21 年 7 月 27 日

 医 院

電話

内 用 薬

1日 1 回 14 日分
 1回に 1 包 1 錠 カプセル
 おのみ下さい。

下記の○印の時間におのみ下さい

の み か た	(朝・昼・夕) 食後
	寝る前
	(朝・昼・夕) 食前

21.8.13

 医 院

内・外・用薬

平成 21 年 7 月 5 日

用 法

1日	回	日分	毎食	一包完服用
錠 剤	1日	1回	1日分1回各	錠 完服用
散 剤	1日	1回	1日分1回各	散 完服用
外 用	1日	1回	1日分1回各	包 完服用
坐 薬	1日	1回	1日分1回各	包 完服用

 医 院

TEL (代)

再調剤記録 書式

日付	調剤	依頼者	患者ID	患者名
平成 年 月 日	1・2	さん		様
調剤内容				
<input type="checkbox"/> 粉砕	<input type="checkbox"/> 一包装	<input type="checkbox"/> 中止薬投与	<input type="checkbox"/> 半錠投与	<input type="checkbox"/> 調剤変更
<input type="checkbox"/> その他				
処方内容				
				主治医
				先生
				薬剤師
				指導医
				監査

まとめ

- 持参薬鑑別の所要時間は1件あたり平均53分であった。他の医療機関からの処方や、服薬状態が悪い場合などは特に時間がかかり、並行して行なっている他業務の時間も含まれている。
- 再調剤の記録を残すために書式を検討し、運用している。
- 人員削減という厳しい状況下で今までと同じ業務内容を維持するためには、業務の効率化、規則の遵守、業務の再編成が必要である。



